

平成 22 年度一般公開が終了しました。一たくさんの方々のご来場、誠にありがとうございました。

平成 22 年 4 月 16～17 日の 2 日間にわたり、筑波研究所一般公開が開催されました。今年は『『バイオリソース』ってな～に？来て、見て、ふれて』をテーマに、筑波研究所（バイオリソースセンター）が収集・保存・提供する生物学の研究には欠くことのできない研究材料「バイオリソース」を多くの皆様に知って頂くことができました。

マウスやシロイヌナズナの本物を観察したり、iPS 細胞や ES 細胞、遺伝子、そして様々な微生物の世界を顕微鏡でのぞき込んで、その小さな世界に目をまん丸くする姿があちらこちらにありました。「見る」をテーマにした展示に加え、「ふれる」をテーマにした、細胞の培養体験、ブロッコリーからの DNA 抽出実験、モーションキャプチャー体験などの参加型の展示も大盛況でした。小さなお子さんからご年配の方々まで、会場には多くの笑顔と驚きの声があふれていました。

また、特別講演では、実験動物開発室 目加田 和之 研究員、細胞材料開発室 中村 幸夫 室長、微生物材料開発室 大熊 盛也 室長が、健康や環境の課題解決のために重要なバイオリソースの可能性を紹介しました。会場から出てきた方からは、「いや～今日は勉強になった」との感想を述べられていました。

筑波研究所一同、改めて科学の発展を支えるバイオリソースの整備に誇りを感じ、そしてより多くの方々にこの事業の重要性を広めていこうと、気持ちを新たにした 2 日間となりました。

ご来場者の皆様、誠にありがとうございました。

今後とも、筑波研究所（バイオリソースセンター）をご支援くださいますよう、よろしくお願い致します。

（平成 22 年度一般公開の様子はNHKニュースワイド茨城（4 月 17 日）で放送されました。）

◆講演内容

講演 1：ヒトに役立つマウスの話

（実験動物開発室 目加田 和之 研究員）

講演 2：細胞が病気を治す

（細胞材料開発室 中村 幸夫 室長）

講演 3：微生物が地球を救う？～環境問題解決のための微生物のバイオリソース～

（微生物材料開発室 大熊 盛也 室長）

